

第24回飛騨河合音楽コンクール(令和6年度開催)
第1位グランプリ受賞記念

岡田桃佳

ヴァイオラ・リサイタル

2025 10/13 Mon

| 開演 | 11:00 | 開場 | 10:30
飛騨市文化交流センター 小ホール

入場無料(※要整理券)



ピアノ
山崎早登美



チェロ
金木博幸
(東京フィルハーモニー交響楽団)

ブラームス

ヴィオラソナタ第1番 op.120-1

クラリネット三重奏曲 op.114 (ヴィオラ版) 他

※未就学児の方はご入場できません。

※整理券の配布は9月12日(金)午前9時00分から下記施設にて行います。

(配布場所: 飛騨市文化交流センター、地域交流センター船津座、河合振興事務所)

主催: 飛騨音楽の里 後援: 飛騨市 飛騨市教育委員会

お問い合わせ先: ☎0577-65-2221 (平日午前9時00分~17時00分) ✉hidakawai.music@gmail.com



出演者紹介



岡田 桃佳 ヴィオラ

山口県出身。5歳よりヴァイオリンを始め、15歳でヴィオラに転向。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学卒業。2023年秋からドイツに拠点を移し、ベルリンフィルハーモニー交響楽団・カラヤンアカデミーを経て、現在ライブツィヒ音楽演劇大学に在籍中。

第24回飛騨河合音楽コンクール第1位。第3回K弦楽器コンクール第1位。第11回秋吉台音楽コンクール弦楽部門第2位。第19回日本演奏家コンクール第2位、神奈川県教育委員会教育長賞。

東京藝術大学奏楽堂モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、小澤征爾音楽塾特別公演、オペラ・プロジェクトXVIII、XIXに参加。セイジ・オザワ松本フェスティバルに塾生として参加。紀尾井ホール室内管弦楽団2023年度シーズン・メンバー。

2023年度宗次エンジェル基金奨学生。

これまでにヴァイオリンを田野倉雅秋、ヴィオラを大野かおる、市坪俊彦、IGNACY MIECZNIKOWSKI、JOAQUÍN RIQUELME、PAULINE SACHSEの各氏に師事。



山崎 早登美 ピアノ

東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学を経て、同大学大学院修了。第67回日本音楽コンクール入選ほか受賞多数。日本演奏家コンクールにて、過去四度伴奏者賞を受賞。また、浜松国際管楽器アカデミーなど各種音楽祭で公式伴奏者を務める他、国内外のアーティストとの共演など多岐にわたり活動している。

2016～2019年および2021～2024年、東京藝術大学弦楽科伴奏助手を務める。現在、東京音楽大学弦楽科非常勤講師。(伴奏、室内楽)

飛騨河合音楽コンクール公式ピアニスト。



金木 博幸 チェロ

札幌市出身、1978年桐朋学園高校音楽科卒業。同年、日本音楽コンクール第2位入賞。翌年、東京国際音楽コンクール第1位入賞。斎藤秀雄賞受賞。上原与四郎氏、青木十良氏に師事。'81年に渡独。'84年北西ドイツ音楽大学首席卒業。'88年シュトゥットガルト国際チェロコンクール最高位。イタリア国境に近いスイス南部ルガーノ放送響メンバーとしての活躍の他、ウィーン・ブダペスト・ルガーノ等各地でリサイタルを行い、オーケストラとも共演した。'91年に帰国し、東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストに就任。オーケストラプレイヤーとしての活動を加えて、ソリスト、室内楽奏者としても多彩な活動を展開し、各地で高い評価を得ている。

飛騨河合音楽コンクール審査員。

～飛騨河合音楽コンクールについて～

飛騨河合音楽コンクールは「飛騨市を舞台とした若手芸術家・音楽家の育成」を目的とした音楽コンクールです。その歴史は合併前の河合村時代まで遡り、初回から数えて今年度で25回目の開催となりました。

コンクールでは全国から集まった若手音楽家のみなさんが熱演を披露します。審査員は飛騨市にゆかりのあるオーケストラ奏者を中心に、各分野で国内屈指のプレーヤーの方々を務めます。

コンクール本選で最高位を受賞した方には、副賞として飛騨市内で開催する「受賞記念リサイタル」への出演権が授与されます。このリサイタルは若い音楽家のさらなる活躍を応援するものであると同時に、地域に住む方々が気軽にクラシック音楽に触れられる機会としても重要な演奏会です。

この音楽コンクールとリサイタルという両輪によって、飛騨から世界に羽ばたく若手音楽家を応援しています。

